



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第55号 R3.10.1

## 中学校体育大会

晴天に恵まれ、中学校の体育大会が開催されました。今年度も感染症対策のため、保護者の観覧の制限や協議内容の工夫をしての実施となりました。様々な活動が制限される日々ですが、当日は、はつらつとした子どもたちの姿を見ることができました。



9月24日 吉川中学校



9月30日 東能勢中学校



## 第5回 通学路等安全対策部会を開催しました

東地区の通学路等安全対策部会（通学路部会）の進捗状況をお知らせします。

【通学路部会】

○第5回：9月27日実施

地区委員さんとの懇談会で出された意見をふまえ、再度「通学方法について」「保護者の見守り体制について」「地区委員の役割について」協議・検討を行いました。

委員の皆様から出た意見（一部抜粋）

- ・ 低学年の保護者は「6年までの班登校を希望したい。」という意見がある。
- ・ 班の数を減らすことで、地区委員さんの数も減らせるのではないかと。
- ・ 班の数を減らすと、班の人数が増えるが、6年生の人数も増えるので子どもはいいと言っている。
- ・ 保護者全員で見守るようにしたらよい。
- ・ 見守りを地域の方をお願いできないか考えている。自治会にお願いしたい。
- ・ 地区委員の役割について整理する必要がある。

協議の結果、通学路部会では以下の2点を開校準備委員会に提案することとしました。

- ① 1～6年生で班登校を実施する。
- ② 集合場所から学校まで、登校班で登校する。

今後、アンケートや懇談会でご意見の多かった「地区委員の役割」について協議・検討していきます。

## 各学校園所の取組みを家庭の教育に ～めざす子ども像の実現に向けて④～ 東能勢小学校

一緒に、非認知能力を育みましょう

### 家庭学習で育む非認知能力

非認知能力という言葉が聞かれたことがありますか？これは、予測困難なこれからの社会を他者と尊重し合い豊かに生きていくためにとても大切な力だと言われています。

認知能力は、今まで学習で主に求められてきた点数化できる「言語力」「論理力」「記憶力」「運動能力」などの能力であるのに対し、**非認知能力は、点数化が難しい「自尊心」「共感力」「好奇心」「協調性」「創造力」「回復力」「忍耐力」「向上心」などの力です。**まさしく社会を生き抜いていく力だと思えます。この二つの力は相関関係があると言われています。

この二つの力を意識した宿題の例について紹介します。

#### 1年生「おはなしだいすき♪」

道徳などの学習や学校生活のテーマについておうちの人に話す宿題です。「話す」という認知能力とともに、おうちの人とのコミュニケーションの中で、「自尊心」を育みます。この宿題は、好きな子も多く、おうちの人からもご家庭でのあたたかさが伝わってくる感想を毎回いただいています。

#### 6年生「けてぶれ学習」

1週間の期間に出された課題を計画的に自分で進めていく宿題です。「㊦計画」「㊦テスト」「㊦分析」「㊦練習」の手順で行います。計算や漢字などの学習能力とともに、中学校の学習スタイルを見越し、非認知能力である自分で能動的に学んでいく「向上心」の育みをねらっています。

## 東能勢中学校区 小中一貫教育校開校に向けた 子ども用リーフレットを作成しました

令和4年4月に東地区に小中一貫教育校が開校します。小中一貫教育校ではどのようなことをめざし、どのような取り組みを行うのかを児童・生徒のみなさんに知ってもらうために、子ども用のリーフレットを作成いたしました。下記のURLよりご覧ください。



CLICK HERE >>

<http://www.town.toyono.osaka.jp/page/page004759.html>